

神奈川県立秦野支援学校 学校運営協議会 開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催しました。

会議名称	令和6年度 秦野支援学校 第3回 学校運営協議会
開催日時	令和6年11月6日(水) 9時30分～11時30分
開催場所	秦野支援学校 落合校舎2階会議室
出席者	運営協議会委員(本校校長含む) 6名 ※欠席者4名 事務局教職員 10名
会議資料	第3回学校運営協議会次第 中間評価資料 ともに進むサポーターズ部会・みなで育てるサポーターズ部会 報告資料
議事録	<p>1、学校長挨拶 今回は、学校目標の取組の中間評価について、厳しい意見も含めてみなさんからご指摘をいただきたい。</p> <p>2、各部門課程・校務グループの取組(中間評価)についての報告 【B課程】アセスメントについてミニ研修会で共有を図った。緊急時の対応については、引き取り訓練で病院と連携して行うことができた。保護者との連絡方法の見直しは課題。 【Cかもめ】動画視聴など、ICT機器の利活用の効果的な活用の工夫を行った。同学年同士の授業や集会での発表など充実した取組ができた。復学先とのスムーズな連携のためのパンフレットをよりよくするために検討中。 【D弘済】教育計画の目標を厳選して、目標の共有化を図った。従来に捉われない指導体制を構築、業務サポーターを有効に活用できた。弘済学園との連携を整理して明確に示せるよう資料を作成中。 【E高等部】ICT機器の活用は、取り扱いのルールを整理して、授業での積極的な活用が進んだ。進路校外学習やアセスメントの実施など個に応じた進路学習に取り組んだ。地域を学びの場とした活動の実践を上げた。 【F末広】アセスメントを指導に活かすための研修を実施、計画中。チーム力を活かした個別教育計画の作成を推進した。末広小との交流は実践を積み重ねている。中学校との交流も始まった。 【G部門】よりの確な学習支援のために複数のアセスメントを実施した。視線入力など、入力装置の工夫を行い、ICT活用をすすめた。小学校、中学校との交流が始まった。事故、ヒヤリハット防止の検討を行い意識を高めた。 【カリキュラムG】居住地交流のリーフレットの作成、個別教育計画のアンケートの実施、いぶき祭の集合開催、出席簿のチェック体制の構築などすすめることができた。 【マネジメントG】業務アシスタントの効果的な活用で年度初めの業務を大幅に削減できたグループがあった。5年ぶりのプール授業を安全に実施できた。発作・アレルギー対応訓練を実施した。 【サポート・スタディG】地域を学びの場とした販売活動を計画中、ICTを活用した授業づくりの研修や活用報告会等を実施、通信や見学会等などによる進路関連の情報提供をすすめた。</p> <p>3、ともに進むサポーターズ部会・みなで育てるサポーターズ部会の取組の報告 地域学校との交流や地域施設等での展示を行った。子どもたちを「地域のフロントへ」出していくことを目指して、地域での活動を積極的に行っていきたい。</p> <p>4、質問、意見等 ・地域を学びの場とした活動の取組は、学部とグループのどちらが主体で行っているか。 →学部が主体の取組が多いが、地域連携系のネットワークを活用するなど連携して行っている。 ・福祉ふれあいまつりなどの場に積極的に参加して地域との関わりが増えている。他にも地域の小学校が参加している行事があるので高等部の販売活動で参加してはどうか。支援学校について地域にもっと知ってほしいという思いがある。子どもたちにとっても、地域にとってもメリットがあるのではないかと。 ・居住地交流を希望しない保護者に理由を聞いたという取組はどのようなことか。 →今まで希望のある方にだけ対応していたが、希望のない方に目を向けることで、参加者が増えるのではないかと考えている。⇒居住地交流のメリットをもっと伝えていって、経験できる子どもを増やしてほしい。 ・ランドデザインは分かりやすく、ランドデザインに沿って取り組んでいる状況はよい傾向である。 ・学校で地域との交流が進んでいると感じた。取組が増えることで教員の業務負担が増えてはいけない。負担が少なくできるアイデアは提供できると思うので、省エネかつローコストでできることを探していきたい。 ・台風10号で土砂災害がたくさんあった。今まで秦野は災害が少なかったのも、危機感が足りなかったと実感している。福祉施設も避難所についても、施設や職員の受け入れ体制の課題がわかった。 ・Cかもめで復学支援に力を入れていることや、進路の見学会に小中の保護者が参加していることは素晴らしい。 ・外部との関わりなど、良い取組をもっと自慢、発信してほしい。 「いぶき祭」で学ぶことはたくさんある。児童生徒が何を学ぶか、何を学ばせたいかを明確にして実施してほしい。</p> <p>5、学校長挨拶 本校が地域の方にどれほど知っていただけているかが課題であることがよくわかった。もっと発信していく必要性を感じた。協議会に限らず、日頃から遠慮なく学校にお越しいただきたい。</p>